

平成19年11月30日
水産庁

水産物の市況について（平成19年11月及び12月）

—東京都中央卸売市場における平成19年11月（10月21日～11月20日集計）の市況と、
12月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成19年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みに推移しました。

II 平成19年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、青物（さば・さんま等）が減少することから需要が強くなり卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（各地とも漁は低調）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量はやや増加すると見込まれるものの、需要期でもあることから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量はやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は北部太平洋海域、駿河湾から伊豆諸島周辺、東シナ海周辺、済州島周辺、対馬周辺海域、山陰沿岸）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月よりやや減少するものと見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は日本海側は山陰沿岸と大和碓、太平洋側では北海道羅臼沖及び三陸沿岸）

「あじ（生鮮品）」

入荷量はやや減少と見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸、新潟県沿岸、九州西沖、犬吠埼～房総沿岸）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量はやや増加すると見込まれるものの、年末需要があるため卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円／kg）

	11 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
19年	56	842	55	810	54	790
前年	57	850	59	762	59	762

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

3：前月、前々月と平成19年の入荷量・価格に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円／kg、％）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	11 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	615	84	134	114
さけ・ます（平均）	642	98	94	108
（ぎんざけ塩蔵品）	682	100	99	106
（あきさけ塩蔵品）	431	86	80	115
（ときさけ塩蔵品）	695	75	76	83
（べにざけ塩蔵品）	983	95	98	102
（さけ類冷凍品）	607	100	97	112
さば（生鮮品）	553	109	127	109
するめいか（平均）	358	89	81	90
（生鮮品）	385	91	81	92
（冷凍品）	313	100	92	98
あじ（生鮮品）	482	94	73	76
まぐろ（冷凍品）	1,395	110	103	108
（めばち冷凍品）	803	104	90	91
（きはだ冷凍品）	628	101	127	101
（くろまぐろ冷凍品）	3,835	101	123	147
（みなみまぐろ冷凍品）	2,827	98	128	141

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：11月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成14年～18年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課調整班
 代表 03-3502-8111
 内線 6616 山尾、嶋田
 直通 03-6744-2350